

2024年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース			教科担任		
芸術	美術Ⅱ	2	2年次			石川 潤		
使用教科書	日本文教出版 高校生の美術 2		使用副教材		なし			
科目の目標					道徳教育のねらい			
美術Ⅰでの学習内容を踏まえ、感性を一層豊かにし、美術を愛好する心情を育て、生涯にわたり美術を学び親しむための基礎を養う。					芸術を愛好し、美を探究する過程で、自然への感謝と生物に対する尊敬の念を持ち、他を思いやる心を育てる。			
学習活動内容		育てたい6つの力 (資質・能力)						
		1	2	3	4	5	6	
		主体的学習	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自他認知・協働力	計画実行力	
1	導入・オリエンテーション	○		○			○	
2	インスタレーション (階段アート)	○	○	○		○	○	
3	インスタレーション (顔はめパネル)	○	○	○		○	○	
	油彩画 (小作品)	○	○		○		○	
5	美術館鑑賞	○		○				
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に取り組む態度		
	美術や美術文化を幅広く理解し、創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している		感性や想像力を働かせて主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか			美術の文化を理解し、意欲的・主体的に授業に取り組んでいるか		
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。							
		授業での取組	作品	発表	鑑賞			
	主体的に取り組む態度	○		◎		○		
	思考・判断・表現	◎	◎	◎				
知識・技能	○	◎	○					

美術Ⅱ 授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況	
月 (時 数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4月	導入・オリエンテーション	・ インスタレーションについての基本的な知識を習得し、これからの制作に対する意欲を高める	・ プリント、教科書による解説 ・ 画材の使用法についての解説、グループを作り、それぞれのグループで構想を練る (4)	4	
		インスタレーション (階段アート)	・ 同じ目標に向かい、グループで課題に取り組むことにより基礎的な対話的で主体的な学びが出来る	・ 様々な画材を用いて各グループで構想を練ったデザインを模造紙に描く。 (23) ・ 階段に展示(1)	24	
	8月	美術館鑑賞 (会期に合わせて挿入)	・ 本物の絵画や彫刻に触れ、そのよさを知るとともに美術を愛する心情を育てる	・ 函館美術館を訪問し、学芸員の方からの解説を受け、作品を鑑賞する (2)	2	
	9月	インスタレーション (顔はめパネル)	・ 同じ目標に向かい、グループで課題に取り組むことにより、より高度な対話的で主体的な学びが出来る	・ 様々な画材を用いて各グループで構想を練りデザインする(2) ・ スタイロフォームやそれを加工する様々な道具を使い、パネルの制作を共同で行う (3)	5	
後 期	10月 ～1月	インスタレーション (顔はめパネル) 続き	・ 同じ目標に向かい、グループで課題に取り組むことにより対話的で主体的な深い学びが出来る	・ スタイロフォームやそれを加工する様々な道具を使い、パネルの制作を共同で行う(24) ・ 展示(1)	25	
	2月 ～3月	油彩画(小作品の制作)	・ 小さいキャンバスに自由な空想画を制作する ・ 油絵の具の特性(マチエル)を活かした作品作りを学ぶ	・ 自分の中の世界をイメージし、抽象的な表現を学び、油彩画の技法を用いてそれを表現する(9) ・ 鑑賞を通して互いの世界観を認め、感性を豊かにする(1)	10	